



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月1日

上場会社名 FRACTALE株式会社

上場取引所 東

コード番号 3750 URL <https://www.frac-tale.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 星野 喜宏

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 関本 秀貴

TEL 03-5501-4100

四半期報告書提出予定日 平成31年2月1日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	1,853		285		203		222	169.7
30年3月期第3四半期	134	90.4	129		122		82	

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 222百万円 (169.7%) 30年3月期第3四半期 82百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	33.12	
30年3月期第3四半期	12.09	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	8,168	3,230	39.5	481.21
30年3月期	5,373	3,075	57.2	458.09

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 3,230百万円 30年3月期 3,075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		10.00	10.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	474.5	430	229.6	400	213.6	400	11.1	58.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	7,183,195 株	30年3月期	7,183,195 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	470,465 株	30年3月期	469,995 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	6,712,871 株	30年3月期3Q	6,817,641 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想値と大きく変わる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成30年4月1日～平成30年12月31日）のわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により回復基調ではあるものの、米国の政策動向や世界経済の不透明さもあり、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、事業基盤の整備・拡充、ならびに事業領域における競争力強化、収益性の向上に注力し、積極的に取り組んでまいりました。

不動産&フィナンシャル事業において、合同会社バロンが保有する販売用不動産の積極的な販売活動に取り組みましたが、売却予定先の購入資金調達の遅れ等により売上を計上するには至りませんでした。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における連結売上高は1,853百万円（前年同四半期134百万円）となりました。

なお、当社は平成30年3月にメディア&マーケティング事業から撤退し、不動産&フィナンシャル事業の単一セグメントとなったため、セグメント別の記載を省略しております。

また、平成30年10月1日付で、当社はFRACTALE(株)にセブンシーズ・アセット・マネジメント(株)はデュニー(株)へ商号を変更しております。

損益面につきましては、営業利益285百万円（前年同四半期は営業損失129百万円）、経常利益203百万円（前年同四半期は経常損失122百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、222百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益82百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は8,139百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,011百万円増加いたしました。これは主に販売用不動産の増加によるものです。固定資産は29百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,216百万円減少しました。これは主に有形固定資産の販売用不動産への振替によるものです。

この結果、総資産は、8,168百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,795百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は932百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,323百万円減少いたしました。これは主に短期借入金の減少によるものであります。固定負債は4,005百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,963百万円増加しました。これは主に長期借入金の増加によるものです。

この結果、負債合計は、4,938百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,640百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成30年5月10日に公表した業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	995,990	204,595
販売用不動産	2,116,869	7,711,127
その他	21,327	226,073
貸倒引当金	△6,110	△2,644
流動資産合計	3,128,077	8,139,150
固定資産		
有形固定資産	2,217,952	5,961
無形固定資産		
その他	1,977	3,284
無形固定資産合計	1,977	3,284
投資その他の資産	25,545	20,157
固定資産合計	2,245,475	29,403
資産合計	5,373,553	8,168,554
負債の部		
流動負債		
短期借入金	2,200,000	280,000
1年内返済予定の長期借入金	-	105,204
その他	55,512	547,251
流動負債合計	2,255,512	932,455
固定負債		
長期借入金	-	3,873,961
その他	42,792	131,897
固定負債合計	42,792	4,005,858
負債合計	2,298,304	4,938,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,944,216	2,380,196
利益剰余金	167,456	886,697
自己株式	△136,424	△136,653
株主資本合計	3,075,248	3,230,240
純資産合計	3,075,248	3,230,240
負債純資産合計	5,373,553	8,168,554

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	134,547	1,853,161
売上原価	153,441	1,424,269
売上総利益又は売上総損失(△)	△18,894	428,891
販売費及び一般管理費	110,488	143,168
営業利益又は営業損失(△)	△129,383	285,723
営業外収益		
受取賃貸料	13,402	5,360
受取保険金	-	2,569
その他	6,022	2,273
営業外収益合計	19,424	10,203
営業外費用		
支払利息	21	29,989
アレンジメントフィー	-	55,296
その他	12,811	6,959
営業外費用合計	12,833	92,245
経常利益又は経常損失(△)	△122,791	203,681
特別利益		
受取和解金	5,000	-
違約金収入	-	20,000
負ののれん発生益	201,807	-
特別利益合計	206,807	20,000
特別損失		
固定資産処分損	-	128
減損損失	157	-
特別損失合計	157	128
税金等調整前四半期純利益	83,859	223,552
法人税、住民税及び事業税	1,427	1,200
法人税等合計	1,427	1,200
四半期純利益	82,431	222,352
親会社株主に帰属する四半期純利益	82,431	222,352

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	82,431	222,352
四半期包括利益	82,431	222,352
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,431	222,352

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産&フィ ナンシャル事 業	メディア& マーケティ ング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	158,617	△24,070	134,547	—	134,547
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	158,617	△24,070	134,547	—	134,547
セグメント損失(△)	△7,480	△29,242	△36,723	△92,659	△129,383

(注) 1 セグメント利益の調整額△92,659千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 メディア&マーケティング事業の外部顧客への売上高△24,070千円は、売上高50,585千円に返品による売上戻り高△74,655千円を計上したことによるものであります。

2. 報告セグメントごとののれんに関する情報

「不動産&フィナンシャル事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間より合同会社バロンの出資持分を取得し、連結子会社としたことに伴い、のれんの金額に変動が生じております。なお、当該事象によるのれんの増加額は51,959千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、従来「不動産&フィナンシャル事業」「メディア&マーケティング事業」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、前連結会計年度に「メディア&マーケティング事業」を構成する(株)インターナショナル・ラグジュアリー・メディアの全株式を譲渡したため、第1四半期連結会計期間より「メディア&マーケティング事業」は廃止となりました。

これにより、当社グループは単一セグメントとなることから、当第3四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。